

令和8年度4月期

金沢大学大学院新学術創成研究科

(博士後期課程)

学生募集要項

第1回～第3回

金沢大学大学院新学術創成研究科

令和7年4月

(注意)

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

- 目次 -

出願手続から入学までの日程	3
1. 新学術創成研究科の概要	4
2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	4
3. 募集人員	4
4. 出願資格	4
5. 出願資格認定申請手続	5
(1) 出願資格認定申請方法	5
(2) 出願資格認定申請期間	5
(3) 出願資格認定申請書類	5
(4) 認定審査の結果	6
6. 出願期間	6
7. 出願手続	6
(1) 出願方法	6
(2) 出願書類等	6
(3) 出願及び受験にあたっての注意事項	8
(4) 障がいのある者等の事前相談	8
(5) その他	8
8. 検定料の支払	8
9. 受験票の印刷	9
10. 入学者選抜試験	9
(1) 試験期日及び場所	9
(2) 選抜方法	10
11. 合格者発表	10
12. 入学手続等	10
(1) 入学手続	10
(2) 入学手続時の必要経費	10
(3) 授業料の納入	10
(4) 本学が義務付けている学生保険	10
(5) その他	11
13. 個人情報の保護	11
14. 経済的支援制度	11
(1) 入学料・授業料免除	11
(2) 奨学制度	11
15. 融合科学共同専攻に係る留意事項	12
16. 問合せ先	12
＜参考＞金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（ ハカセプラス HaKaSe⁺ ）	13
＜参考＞外国人留学生の日本就職支援	14

出願手続から入学までの日程

	第1回	第2回 ※4	第3回 ※4
出願期間 ※1 ※2	令和7年 6月4日（水） 午前9時00分から 6月10日（火） 午後4時30分まで	令和7年 9月8日（月） 午前9時00分から 9月12日（金） 午後4時30分まで	令和7年 12月11日（木） 午前9時00分から 12月17日（水） 午後4時30分まで
受験票印刷開始 ※3	令和7年 6月27日（金） 午前9時00分から	令和7年 10月3日（金） 午前9時00分から	令和8年 1月9日（金） 午前9時00分から
試験期日	令和7年 7月 7日（月）から 7月11日（金）の うち専攻の指定する日	令和7年 10月14日（火）から 10月17日（金）の うち専攻の指定する日	令和8年 1月19日（月）から 1月23日（金）の うち専攻の指定する日
合格者発表	令和7年 7月25日（金）	令和7年 10月31日（金）	令和8年 2月6日（金）
入学手続	令和8年 3月中旬		
入学	令和8年 4月1日		

※1 「4. 出願資格」（4～5ページ）の⑥、⑦又は⑧により出願を希望する者は、出願前に別途審査を受ける必要があります。「5. 出願資格認定申請手続」（5ページ）を確認してください。

※2 Web出願システムで、出願期間の1週間前から事前登録することができます。

※3 Web出願システムで、試験当日までに受験票をダウンロードしてください。

※4 第1回の合格者状況等により、第2回以降を実施しない場合があります。実施の有無については、随時研究科Webサイトを確認してください。

研究科Webサイト <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

『自然災害により被災した志願者の検定料免除について』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会を確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学Webサイトを確認ください。

本学（入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還）Webサイト

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō_henkan

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL：076-264-5169,5180 E-mail：boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



1. 新学術創成研究科の概要

新学術創成研究科の教育研究上の目的

革新的かつ新しい学問・産業の分野・領域の創成につながる異分野融合的な研究による成果や社会との往還を基盤に大学院教育を展開することで新たな学術の創成に寄与し、学際性・総合性・国際性を有する研究者や産業人等を養成することを目的としています。

専攻の人材の養成に関する目的

専攻	人材の養成に関する目的	授与する学位
融合科学共同専攻	グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に、科学技術イノベーションの基盤を生み出し、社会実装できる博士人材を養成する	博士(融合科学)、博士(理学)又は博士(工学)
ナノ生命科学専攻	あくなき探求心と人・科学・社会に貢献する高い志を持ち、世界最先端のナノ動態計測・制御を生命・物質科学分野に展開し、未踏ナノ領域を切り拓く研究人材を養成する	博士(ナノ科学)

2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

専攻	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）
融合科学共同専攻	修士又は博士前期課程等で修得してきた分野の専門知識のほか、専門が異なる分野にも多角的・論理的思考力を持って他者との協奏的活動に取り組み、グローバルに活躍しようとする姿勢を備え、複雑で困難な問題を分野融合の力で発見及び解決し、社会の発展のための新しい高度な価値を積極的に創造しようとする強い意欲を持つ者を受け入れる。
ナノ生命科学専攻	修士又は博士前期課程等で修得してきた分野の専門知識のほか、研究者として自立するために必要な高度な英語運用能力を備え、卓越した研究者として求められる資質や探求力、直観力及び規範的倫理観を有する者を受け入れる。

3. 募集人員

専攻	募集人員
融合科学共同専攻	14名
ナノ生命科学専攻	10名

4. 出願資格

博士後期課程に出願することのできる者は、次の①から⑧のいずれかに該当する者です。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和8年3月31日までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
 - 1) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者

- 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに24歳に達するもの

⑥、⑦又は⑧により出願を希望する者は、出願前に別途審査を受ける必要があります。「5. 出願資格認定申請手続」(5～6 ページ)を確認してください。

「金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する皆さんへ」

金沢大学では、金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する学生は、原則「博士論文研究基礎力審査 (Qualifying Examination)」(以下「QE」という)により修了することとしています。

QEを受験し、合格した学生は、修士論文執筆に縛られることなく、早い段階で博士論文の作成に向けた研究を進めることができます。金沢大学大学院博士前期課程から博士・博士後期課程への学内進学を希望する学生は、出願前に「16. 問合せ先」(12ページ)にQE受験手続等を確認してください。

5. 出願資格認定申請手続

(1) 出願資格認定申請方法

「4. 出願資格」(4～5ページ)の⑥、⑦又は⑧により出願しようとする者については、出願前に出願資格審査を行います。

出願資格認定申請期間に、出願資格認定申請書類を電子データ(PDF)をメールにて提出してください。その際、メールの件名を「大学院新学術創成研究科博士後期課程出願資格認定申請：●●(申請者氏名)」としてください。

※添付ファイルのサイズが大きくメールで送信できない場合は、ファイル送信サービス等を利用してください。

(2) 出願資格認定申請期間

区分	申 請 期 間
第1回	令和7年 5月21日(水)～ 5月27日(火) 午後4時30分まで
第2回	令和7年 8月25日(月)～ 8月29日(金) 午後4時30分まで
第3回	令和7年 11月27日(木)～ 12月 3日(水) 午後4時30分まで

(3) 出願資格認定申請書類

- ① 全員：入学試験出願資格認定申請書(様式Ⅰ)、研究業績等調書(様式Ⅱ)及び「7. 出願手続」(6～8ページ) > (2) 出願書類等 > 「③その他必要な提出書類」一式
- ② 「4. 出願資格」(4～5ページ)の⑥により出願を希望する者のみ：

出身大学長等が作成したもので、以下の内容が記載された文書及び添付書類(外国語の場合は日本語訳を添付してください。)

【記載例】

□□大学としては、本学の学生である●●氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告します。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。

【添付書類の例】

ア) 当該審査の合格基準

イ) 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類

ウ) 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類
- ③ 「4. 出願資格」(4～5ページ)の⑧により出願を希望する者のみ：

専門基礎科目に関する課題(課題は申請前に、希望する研究指導教員に確認してください。)
- ④ 出願資格認定申請書類提出先

(4) 認定審査の結果

認定審査の結果は、申請者あてメールで通知します。

出願資格「有」と認定された者は、「7.出願手続」(6～8 ページ)に従って手続を行ってください。

6. 出願期間

区分	出 願 期 間
第 1 回	令和 7 年 6 月 4 日 (水) 午前 9 時 00 分 ～ 6 月 10 日 (火) 午後 4 時 30 分まで
第 2 回	令和 7 年 9 月 8 日 (月) 午前 9 時 00 分 ～ 9 月 12 日 (金) 午後 4 時 30 分まで
第 3 回	令和 7 年 12 月 11 日 (木) 午前 9 時 00 分 ～ 12 月 17 日 (水) 午後 4 時 30 分まで

注) 1. 出願資格によっては、出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出祈願は、上記の出願期間より期日を早く定めています。詳細については、「5.出願資格認定申請手続」(5～6 ページ)を参照してください。

2. Web 出願システムでの必要な情報の登録、書類のアップロード、検定料の支払いは、出願期間の 1 週間前から可能です。

7. 出願手続

本学の出願方法は、Web 出願限定です。学生募集要項の紙媒体(冊子)での配布は行いません。

出願情報の確定後は、登録内容を一切変更できないので、十分ご注意ください。

(1) 出願方法

○ Web 出願の流れ



① Web出願システム

Web出願システムへは、本学(入試情報・高大院接続)Webサイトからアクセスできます。

本学トップページ>入試情報・高大院接続>Web出願

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry

《Web出願デモサイト》

Web出願を体験できるデモサイトを同ページに掲載しています。

② 出願書類の提出先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学融合系事務部学生課大学院係

〈注意〉

Web 出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真及び出願書類一式のアップロード及び「(2) 出願書類等」を窓口への持参又は郵送(*)を済ませ、内容に不備がなかった場合、完了とします。

なお、海外在住で、郵便事情等により出願期間内に必着が困難な場合は、出願書類の提出方法について別途指示しますので、検定料の支払いの前に、出願書類提出先に問い合わせてください。

(*) 郵送は書類速達に限ります。出願期間最終日までに必着です。(出願期間後に到着した出願書類のうち、出願期間最終日の前々日の国内発信局日付印のある書類速達は受理します。)

(2) 出願書類等

① Web 出願システムでアップロードするもの

証明写真データ	Web 出願システムで登録及び検定料支払後、登録完了メールに記載されている URL から、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近 3 ヶ月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。
---------	--

「③その他必要な提出書類」のデーター式も併せてアップロードしてください。

② Web 出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

※窓口を持参又は郵送してください。

出願確認票（提出用）・履歴書	Web 出願システムで登録後，申込確認ページから A4 サイズでカラー印刷し，提出してください。 （注）出願確認票は，検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。「出願確認票（確認用）」とは異なるので，注意してください。
宛名ラベル	Web 出願システムで登録後，申込確認ページから A4 サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 （注）封筒は，市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し，書留速達で郵送してください。国際スピード郵便（EMS）での郵送も可能（印刷した宛名ラベルは同封）です。

③ その他必要な提出書類

※Web 出願システムでアップロードするとともに、窓口を持参又は郵送してください。

書 類	備 考
1.志願者調書（様式 1）	必要事項を記入してください。
2.学業成績証明書	ア.「4. 出願資格」（4～5 ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者は，出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。 イ.「4. 出願資格」（4～5 ページ）の⑦に該当する者は，出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。 ウ.「4. 出願資格」（4～5 ページ）の⑥，⑧に該当する者は，最終学歴の学校長が作成したもの（修得科目名及び単位数が記載されているもの）。
3.修了（見込）証明書	出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了（見込）証明書ただし，「4. 出願資格」（4～5 ページ）の⑥，⑦，⑧に該当する者は，最終学歴の学校長が作成したもの。 なお，本学大学院博士前期課程又は修士課程修了見込みの者は不要です。
4.修士の学位論文等	「4. 出願資格」（4～5 ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者で，修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を有する（授与された）者は，「修士論文の概要（様式自由）」又は「研究又は開発業務等の概要（様式 2）」。和文・英文のいずれでも可。A4 判 5 ページ以内。補足資料の添付は不可。 「4. 出願資格」（4～5 ページ）の①，②，③，④，⑤に該当する者で，修士の学位又は専門職学位（に相当する学位）を取得（授与される）見込みの者は，「研究経過報告書（様式自由。修士論文の研究題目とその研究の進捗状況を要約したもの）」。和文・英文のいずれでも可。A4判3ページ以内。補足資料の添付は不可。 「4. 出願資格」（4～5 ページ）の⑥，⑦，⑧に該当する者は，「研究又は開発業務等の概要（様式 2）」。和文・英文のいずれでも可。A4判5ページ以内。補足資料の添付は不可。 論文実績，学会発表実績を示す資料（様式自由） 研究等に関する発表論文別刷（受理されているものに限る）等の資料及び参考となると思われる書類（写し）がある場合は，添付してください。
5.口頭発表概要（様式3）	口述試験において発表する内容の概要。和文・英文のいずれでも可。A4判1ページ以内。補足資料の添付は不可。

書 類	備 考
※以下は該当する者のみ	
6.パスポートの写し	外国籍の者は、パスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出してください。また、出願時に日本に在留している者は、在留カード（表、裏）の写しも併せて提出してください。
7.在留カードの写し	
8.戸籍抄本等の写し	改姓（改名）により証明書等の氏名と異なる者は、変更の事実を証明できる戸籍抄本等の写しを提出してください。

(3) 出願及び受験にあたっての注意事項

① 出願前（出願資格認定申請を行う場合は、その前）に必ず、希望する研究指導教員に連絡し、合格した場合の受入れの了承を得てください。

② 希望する研究指導教員への連絡は、出願期間締切日の2週間程度前までには行うようにしてください。研究指導教員については、新学術創成研究科 Web サイトを参照してください。

<https://gsinfinity.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

③ すべての登録情報・提出書類に不備がないか確認してください。不備がある場合は出願を受け付けないことがあります。

④ 出願の際に登録するメールアドレスは検定料の支払完了通知、出願後の各種連絡及び入学手続きに関する連絡用に使いますので、必ず入学手続き期間開始前まで受信可能なメールアドレスを登録してください。

⑤ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。

⑥ 海外に在住し、試験日当日に渡日が困難な場合は、出願時に申し出てください。

⑦ **合格・入学手続後に登録情報・提出書類の不正が発覚した場合、合格・入学許可を取り消す**ことがあります。

(4) 障がいのある者等の事前相談

障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願前に「16. 問合せ先」（12 ページ）に以下の書類を添えて問い合わせてください。

① 事前相談書（様式自由）

- 氏名
- 障がいの種類・程度
- 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
- 大学等でとられていた配慮
- 日常生活の状況
- その他参考となる事項

② 医師の診断書

③ その他の参考書類（障害者手帳の写し等）

(5) その他

出願時に修了見込みの資格で本研究科に合格した者は、入学手続き時に修了証明書を提出する必要があります。ただし、本学大学院博士前期課程又は修士課程修了見込みの者を除きます。

8. 検定料の支払

(1) 検定料 30,000 円

検定料の他に、Web 出願システムに係るサービス利用料として別途 990 円が必要です。

(2) 支払期間

区分	支 払 期 間
第 1 回	令和 7 年 5 月 28 日（水）～ 6 月 10 日（火）
第 2 回	令和 7 年 9 月 1 日（月）～ 9 月 12 日（金）
第 3 回	令和 7 年 12 月 4 日（木）～12 月 17 日（水）

(3) 支払方法

コンビニエンスストア、銀行 ATM（ペイジーでの支払）、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキング（PayPay 銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

(注) 1. 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

2. 銀行窓口での支払はできません。

3. コンビニエンスストアに設置されている銀行 ATM での支払はできません。

4. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者名と同一である必要はありません。

5. 領収書が必要な場合には、「コンビニエンスストア」を選択し、コンビニエンスストアが発行する領収書を利用してください。

6. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。

ただし、検定料の支払後、出願しなかった者及び出願受付後に出願無資格者であることが判明した場合は返還手続を行うことができるので、令和8年3月31日（火）までに手続を行ってください。

検定料返還手続方法は、以下の URL を確認してください。

本学（入試情報・高大院接続）Web サイト

トップページ>入試情報・高大院接続>検定料免除・返還

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan

※ 国費外国人留学生（延長申請中の国費外国人留学生を含む。）は、検定料の支払いは不要です。出願前に「16 問合せ先」（12 ページ）に問い合わせてください。

9. 受験票の印刷

区分	印刷可能期間
第1回	令和7年6月27日（金）午前9時00分～7月11日（金）
第2回	令和7年10月3日（金）午前9時00分～10月17日（金）
第3回	令和8年1月9日（金）午前9時00分～1月23日（金）

Web 出願システムから受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4 サイズで印刷してください。

① 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できる Web サイトの URL 及び2次元コードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。

② 氏名等に間違いがある場合には、「16 問合せ先」（12 ページ）へ連絡してください。

③ 試験当日は、印刷した本学「受験票」を必ず持参してください。

④ 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

10. 入学者選抜試験

(1) 試験期日及び場所

区分	期 日	試験科目等	試験場
第1回	令和7年 7月7日（月）から7月11日（金） のうち専攻の指定する日	口述試験	金沢大学角間キャンパス
第2回	令和7年 10月14日（火）から10月17日（金） のうち専攻が指定する日	口述試験	金沢大学角間キャンパス
第3回	令和8年 1月19日（月）から1月23日（金） のうち専攻の指定する日	口述試験	金沢大学角間キャンパス

※具体的な集合時間及び集合場所は、受験票印刷開始日以降に別途案内します。

※海外に在住し、試験日当日に渡日が困難と申し出た者については、「出願手続から入学までの日程」（3ページ）で示す試験期日のいずれかの日に、オンラインで試験を実施することが可能です。オンライン試験は Zoom・Webex等を利用し、下記（2）の選抜方法と同様に実施します。

(2) 選抜方法

入学者選抜は、「学力検査（口述試験）」及び「学業成績証明書」を総合して行います。

口述試験	「修士論文」、「研究経過報告書」、「研究又は開発業務等の概要」のいずれか及び「大学院博士後期課程入学後の抱負」について、口頭発表（20 分程度）及び質疑応答 口頭発表及び質疑応答を英語で求めることがあります。
------	---

※口述試験において、ノートPCを持ち込み、液晶プロジェクターの使用を希望する者は、志願者調書所定欄の該当区分に○をつけてください。

※書面による学力確認を行うことがあります。その場合は、出願後に希望する研究指導教員から連絡します。

1 1. 合格者発表

区分	期	日
第 1 回	令和 7 年	7 月 25 日（金） 午前 10 時 00 分頃
第 2 回	令和 7 年	10 月 31 日（金） 午前 10 時 00 分頃
第 3 回	令和 8 年	2 月 6 日（金） 午前 10 時 00 分頃

合格者の受験番号を研究科 Web サイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。

合格通知書が必要な場合はオンライン合否照会システムからダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。なお、電話やメール等による合否の照会には応じません。

新学術創成研究科 Web サイト>受験生へ

<https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/examinee/>

合否照会システム

<https://examination.w3.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou/>

1 2. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続は本学 Web サイト上の「入学手続システム」から行います。

詳細は以下の Web サイトに後日公表する入学手続要項を確認してください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/nyugakutetuzuki>



(2) 入学手続時の必要経費

入学科 282,000 円（予定）

(3) 授業料の納入

授業料 半期分 267,900 円（予定）（年額 535,800 円（予定））

※授業料の納入方法は、本学指定の金融機関が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」です。

口座振替等の手続き等の詳細は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

※上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学科、授業料を改定した場合には改定時から新入学科、新授業料を適用します。

※学内進学者（金沢大学のいずれかの大学院修士課程または博士前期課程を修了後、引き続き本研究科博士後期課程に入学しようとする者）は、入学科の納入は不要です。

※国費外国人留学生は、入学科及び授業料の納入は不要です。

(4) 本学が義務付けている学生保険

本学では、学生生活における事故に備え、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）（外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総））への加入を義務付けています。いずれの保険も、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。未加入の場合、課外活動、教育実習、インターンシップ等を許可しないことがあります。

保険料の納付は、Web サイト上の「入学手続システム」から行います。詳細は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

学 研 災：国内外において、①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故、②通学中、学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償：国内外において、正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対し保険金が支払われます。本学では、全学生（留学生を除く）に対し、付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

外国人留学生は、付帯賠償への加入は不要ですが、代えて**インバウンド付帯学総**への加入が必須です。

なお、付帯賠償での「課外活動」は、大学がインターンシップ又はボランティア活動の実施を活動目的として承認した団体が行うインターンシップ又はボランティア活動のことをいいます。

（５）その他

在職身分のまま入学する場合は、所属長（又は任命権者）の同意書を提出してください。

1 3．個人情報の保護

本学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜、入学手続時及び入学後に取得するすべての個人情報は、次の業務等で利用します。

- （１）入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- （２）入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- （３）入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- （４）入学料減免、授業料減免、奨学金手続等の修学支援に関わる業務
- （５）入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- （６）入試改革・教育改革に資する目的で個人が特定できない形で行う統計処理、調査研究業務及び学術会議等での発表
- （７）在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- （８）卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- （９）本人保護等のための緊急対応に関する業務
- （１０）その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務
- （１１）融合科学共同専攻の学生は、北陸先端科学技術大学院大学において本学と同様の学内サービスを受けるための業務

1 4．経済的支援制度

（１）入学料・授業料免除

免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額、納入すべき学期の授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は、入学手続期間前に案内する大学院入学手続要項で確認してください。

（２）奨学制度

① 日本学生支援機構及び民間の育英団体等の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構、都道府県、市区町村、民間の育英団体等が主宰し、修了後に返還義務が生じる貸与奨学金と返還義務の生じない給付奨学金があります。詳細は、各団体の Web サイトを参照してください。

② 本学独自の外国人留学生を対象とする奨学制度

金沢大学では、私費外国人留学生を対象に、独自の奨学制度を設けています。詳細は、以下の web サイトを参照してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/private.php>

③ 給付型奨励金を伴う博士人材育成プログラム

金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。詳細は、本募集要項の巻末の一覧及び以下の web サイト「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト」を参照してください。

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

1 5. 融合科学共同専攻に係る留意事項

融合科学共同専攻は北陸先端科学技術大学院大学との共同教育課程です。次のことを確認の上、出願してください。

- 希望する主任研究指導教員が所属する大学に出願し、当該大学で入学者選抜試験を受験し、入学手続を行ってください。一方の大学で入学手続を完了した者は、他方の大学の入学者選抜試験に合格していても入学手続を行うことはできません。
- 学生は、希望する主任研究指導教員（主として研究指導を担当する専任教員）が所属する構成大学に本籍を置き、本籍大学の主任研究指導教員及び他方の構成大学の副主任研究指導教員を含む複数の指導教員体制により教育研究・学生生活等の指導助言を受けます。
- 本学で所定の課程を修めた者には、本学及び北陸先端科学技術大学院大学の連名により「博士（融合科学）」、「博士（理学）」又は「博士（工学）」の学位を授与します。なお、修了要件として、北陸先端科学技術大学院大学でのラボローテーションや、博士後期課程から入学する者は北陸先端科学技術大学院大学において 10 単位以上を修得する必要があります。
- 北陸先端科学技術大学院大学が開講する科目については、北陸先端科学技術大学院大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが、メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や、集中講義形式による開講など、通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。
- 本学に本籍を置く学生も、北陸先端科学技術大学院大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。ただし、一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。

1 6. 問合せ先

金沢大学融合系事務部学生課大学院係

〒920-1192 石川県金沢市角間町（角間キャンパス 南地区 自然科学本館 1 階）

TEL: 076-264-5971 E-mail: s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp

<参考>金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺) ^{ハカセプラス} HaKaSe⁺

金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)」において、博士人材としての活躍を後押ししており、経済的支援に加え、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を提供しています。以下は、本学が実施している博士人材育成事業です。なお、いずれも我が国の科学技術の進展及びイノベーションの創出に向けた博士学生支援の一環として、国による機関支援を受けて実施している事業であり、事業期間の終了や制度変更により支援内容に変更が生じることがあります。

【給付型奨励金を伴う博士人材育成事業（令和7年度適用）】

		「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)
事業内容		研究支援・キャリア形成支援	AI分野及びAI分野における新興・融合領域 (次世代AI分野)の 人材育成及び先端的研究開発の推進
対象研究科		全研究科	全研究科
課程		博士後期・博士	博士後期・博士
募集定員		年度により異なる。 大学全体で160名前後を支援	2名/年度
支援期間（原則）		博士後期課程又は博士課程（4年制）の 標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4年制）の 標準修業年限内
経済的 支援内容	奨励金/月	180,000円	250,000円
	研究費/年	400,000円	900,000円
	旅費等支援	独自支援有	独自支援有
	入学料免除	—	—
	授業料免除	半額免除	半額免除
対象制限等		[次のいずれかに該当する者は申請対象外] ・日本学術振興会特別研究員（DC） ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける外国人留学生 ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者 [次に該当する社会人学生は申請対象外] ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者 ・所属企業等から十分な生活費相当額（240万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者 なお、上記の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは本事業におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できない状況にないと判断される場合には、支援対象としない。 [外国人留学生] 本学大学院博士後期・博士課程修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約することが必要	

[HaKaSe⁺担当] 金沢大学学務部学務課 jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp

最新情報はHaKaSe⁺ Webサイトをご確認ください。

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

<参考>外国人留学生の日本就職支援

本学では、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」として、日本での就職を目指す外国人留学生を対象に、ビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップ教育等のプログラムを提供しています。これらのプログラムを通じて、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成しています。

[問い合わせ先] 金沢大学学務部キャリア支援室「Link KAGAYAKI」事務局

TEL 076-264-6045 E-mail kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

「Link KAGAYAKI」 Webサイト

<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



【 様式 1 】

金沢大学大学院新学術創成研究科（博士後期課程）

志願者調書

受験番号	※ 記入不要
------	--------

《全員記入》

氏 名	
希望する研究指導教員	※ 必ず事前に，了承を得てください。

《融合科学共同専攻に出願する者のみ記入》

希望するチャレンジ	☐ ライフイノベーション ☐ グリーンイノベーション ☐ システムイノベーション ※ 新学術創成研究科 Web サイトを参考に，挑戦的なイノベーションの枠組み（3 つのチャレンジ）のうち，1 つを選択してください。入学後も変更可能です。
-----------	--

《全員記入》

学 歴	
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

備考：学歴は，高等学校卒業から詳細に記載してください。
（記入例）

年	月	〇〇高等学校	卒業
年	月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	入学
年	月	同上	卒業
年	月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士前期課程	入学
年	月	同上	修了見込

《Web 出願システムで「職歴あり」を選択する者のみ記入》

職 歴	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
（在職者のみ）入学の場合	☐ 退職する ☐ 退職しない

【 様式 1 】

《金沢大学内で受験する者のみ記入》

口述試験でプロジェクター の利用を	☐ 希望する ☐ 希望しない
----------------------	--

【 様式 2 】

受験番号	※
------	---

注) ※欄は記入しないでください。

研究又は開発業務等の概要

No. _____

注) No.2 以降は、A4 用紙を追加し、5 ページ以内に記述してください。

氏名

受験番号	※
------	---

注) ※欄は記入しないでください。

口 頭 発 表 概 要

題 名	
-----	--

氏 名 :	

入学試験出願資格認定申請書

金沢大学大学院新学術創成研究科（博士後期課程）

金沢大学大学院新学術創成研究科長 殿

貴大学大学院新学術創成研究科（博士後期課程）入学試験に出願を希望します。
ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

年 月 日

ふりがな
氏名

年 月 日生（ 歳）

現	住	所	電話	—	—
現	職	勤 務 先			
		職 名			
		所 在 地	電話	—	—
学 歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
職 歴（研究・開発の業務内容が分かるように詳細に記入願います。）					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
学会その他における活動状況					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					

注 1) ※欄は記入しないでください。

注 2) 本様式に書き切れない場合は、行を追加して記入してください。

受験番号	※
------	---

研 究 業 績 等 調 書

金沢大学大学院新学術創成研究科（博士後期課程）

氏名			
学 術 論 文 ， 著 書 ， 研究発表，特許等の名称	発行又は発表 の 年 月 日	発 行 所 ， 発 表 雑 誌 等 又は発表学会等の名称	著 者 又 は 発 表 者 名

注 1) ※欄は記入しないでください。
注 2) 本様式に書き切れない場合は、同様の形式のものを付加してください。
注 3) 「著書又は発表者名」欄は、志願者を含めて公表されている順番で記入してください。